

2022 カナダ留学報告書

国際食料情報学部・国際食農科学科・4年・松崎桜子

1. 当初の目的

大きく分けて3つあった。1つめは、自分の英語力を伸ばし、帰国後のサークル活動や、就職後のキャリア形成に活かすこと。2つめはまた、多国籍・他民族・多言語が混ざり合う「小さな地球」と呼ばれているカナダで、現地の人々とのコミュニケーションをとりながら、国際的な視野を広げていきたいということ。3つめは、自分の専攻している、農業や食、それらにまつわる文化、そして食農教育について知識を深めることであった。

2. 目標達成のために現地でした活動

授業内だけでなく、放課後も英語を使って会話することを心掛けていた。語学学校にはもと「建物内では英語のみ」というルールがある。このルールを守っていくことに加えて、放課後に日本人の友達といるときも英語で会話をしたり、大学外に出てレストランの店員さんと話したり、CA（語学学校でイベント等を企画してくれる UBC の学生）主催のオンラインチャットに参加したり、ホストファミリーと一緒に時間をすごしたりすることで、1日の中でできるだけ多く、英語でのコミュニケーションの時間が取れるようにした。授業内では、国際的な事象について学習し、自分の考えを述べたり、ディスカッションをしたりする機会のほか、CA や UBC キャンパス内の人にインタビューをする機会があった。ここで、

現地の人々がそれぞれの話題に対して、どのように考えているのかを知るために積極的に質問した。私のクラスの先生が語学学校初日に教えてくれた“Think globally, act Locally”という言葉がとても心に残り、これを意識して活動を行った。3つめの目標に対しては、UBC内にある農場へ行ったり、ファーマーズマーケットに行ったり、ということを行った。今回は急すぎたため、実現には至らなかったが、UBC ファームでのボランティア活動をさせてもらえないかということも交渉した。

3.目標達成の自己評価

英語については、努力をした成果もあり、特に聞き取る能力が向上したように感じている。また、英語の音になれたこと以外に、その場面の状況から、どのようなことが話されるのかということを予測できるようになったことも、この成果に関係しているように思う。また、語学学校の授業内で積極的に活動したことで、当初の目標の2つめにしていた「国際的な視野を広げる」ということも、渡航前に想像していたよりも達成できた。特に、農業・食料に関する話題については、興味がある分、より積極的になることができ、語学学校以外の場面でも情報収集を行えた。これについては、現在 PowerPoint にまとめている。後日、報告できるようにしていきたい。反省点としては、雑談や友達を自分から作りに行くことがあまりできなかったことである。私はもともと、日本でも自分から友達を作ったりすることが得意な方ではないのだが、せっかく海外まで行ったのだから、心の殻を破って、オープンマインドで話しかけに行けばよかったと反省している。今回の留学では、語学学校で多くの日本人

と出会う機会もあった。それぞれ、異なる大学から参加しており、今までで生きてきた中で、一番多くの人と話した 1 カ月だったと思う。一緒に楽しい時を過ごすこと、友情をはぐくむことに関して、言語の上手さが必ずしも必要なわけではないと感じた。同じ母国語を持っていても、そうでなくても、一番大事なのは、相手をリスペクトし、心を開いていることだと思った。多くの人々に会うことができ、そういった、言語以外のことについても、学びの多い 1 カ月間だった。

2. 今後の取り組み

今回、身に着けた英語の力をさらに伸ばすために、帰国後も英語を使う機会を積極的に探していきたい。農大にいる海外からの留学生とももっと交流できたらと思う。ELI の CA のような役割が農大にもあるのであれば、ぜひやってみたいと思った。また、英語をツールとして、日本だけではなく、世界から情報にも意識を向け、“Think globally, act Locally”を日本でも忘れずに活動していきたい。例えば、9 月に農大の世田谷キャンパスで開催される世界学生サミットに参加したい。

3. その他

(1) 持って行って良かったもの

- ・歩きやすい靴
- ・サングラス
- ・常備薬

(2) 用意したがいらなかったもの

特になし

(3) 現地で使用したお小遣いの金額

7 万円（カナダの物価は高かった、予定よりも多く使用した、食品類はスーパーで

購入すればもう少し節約できたかもしれない）

4. 次年度の参加者へ

(1) 事前に準備した方がよいこと

緊急時に備えて、携帯電話の電話機能が使えたほうがよい＝SIM の準備

クレジットカード（カナダでなプリペイドカードが使えない場面がある）

(2) 勉強しておくべきこと

・日本の文化

カナダは多様なバックグラウンドを持つ人々が暮らす場所だからこそ、現地では「日本人」や「アジアの人」と相手から認識されているように感じた。そのため、日本をはじめとする自分の出身地、その他バックグラウンドをしっかりと知っておくことが、現地でのコミュニケーションを助けたり、学びを深めたりする場合がある。また、最近では日本のアニメが有名になっているので渡航前に少し予習しておく、会話が弾むと思う。

・国際的な事件や情勢

ELI(現地の語学学校)では英語を学習するだけではなく、英語を使って世界の問題や様々なニュースをについて自分の考えを述べたり、意見交換をしたり、ディスカッションをしたりする中で、国際的な感覚を養うというような取り組みがなされた。そのうえで、国際的な事件や情勢を基礎知識として持っておくことが必要であるように思った。

- ・同世代とのフランクな会話の練習

現地に行ったら、ぜひ自分から CA や UBC 生に話しかけていくことをお勧めする。(安全には十分配慮して)私の場合、緊張してしまってなかなか自分から話しかけることができなかった。これは英語だけに限らないが、授業で使うような英語と、日常のフランクな会話で使う英語は少し異なってくるように思う。授業外でも、現地の人々との交流のチャンスがあるので、その時に話す内容などを渡航前にイメージして練習しておくといいかもしい。